



第4回 四万十の水辺八十八カ所めぐりバスツアー



岩間沈下橋



須崎沈下橋



白綾の滝



記念撮影

市民団体「四万十川自然再生協議会」が独自で選定した「四万十の水辺八十八カ所」を巡るバスツアーが2月14日(土)に開催されました。今回で4回目となるツアーでは、四万十市西土佐と四万十町十和に選定した13カ所の「水辺」を巡りました。観光マップにも掲載されている「岩間沈下橋」や、台風による河川の増水で橋桁が流失し、現在復旧工事が行われている「長生沈下橋」、四万十川流域で一番短い沈下橋とされる「須崎の沈下橋」のほか、高さ10m余を懸崖直下(けんがいちよっか)する様が壮観な「白綾の滝」などを見学しました。参加者は童心に返ったようにはしゃぎ、語りながらツアーを楽しんでいました。

今回巡った四万十の水辺(13カ所)

35番「中半(なかば)休憩所」/36番「岩間沈下橋」/37番「白岩竜神淵」/38番「日本一のモミの木」/39番「須崎の沈下橋」
40番「大宮の大岩」/41番「藤/川の飛び石」/42番「四万十・川の駅(カヌー館)」/43番「長生(ながおい)沈下橋」
44番「君が淵」 45番「白綾(しらあや)の滝」/46番「道の駅「四万十とおわ」」/47番「こいのほりの川渡し」

四万十川 入田ヤナギ林 菜の花まつり



散策路を彩る菜の花



防災植物学習コーナー



巣箱作りコーナー



防災パネル展示コーナー



ラジコンヘリからのお菓子まき

入田ヤナギ林に自生する菜の花が見頃となり、今年も「入田ヤナギ林 菜の花まつり」が3月1日～31日まで開催されています。そのメインイベントが3月7日(土)、8日(日)に開催され、約2,000人が会場を訪れました。出店の中には、災害時に食べることができる身近な野草を紹介した「防災植物学習コーナー」や、川の事業や防災に関するパネル展示などもあり、来場者は四万十市の春の代名詞となった菜の花の風景と楽しいイベントの数々を満喫しながら、防災についても学び、気持ちを新たにしていました。また、子どもからお年寄りまで誰でも体験できる木製の巣箱づくりコーナーは終始大入り満員で、今年度は完成した巣箱に絵を描き、世界に一つだけのオリジナル巣箱とすることもでき、来場者を大いに喜ばせていました。

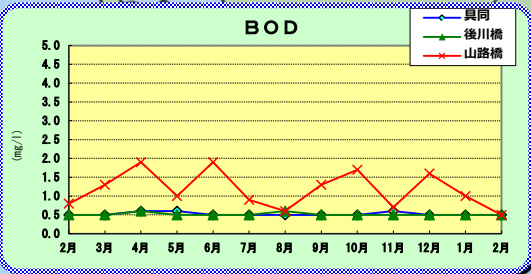
四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは
中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

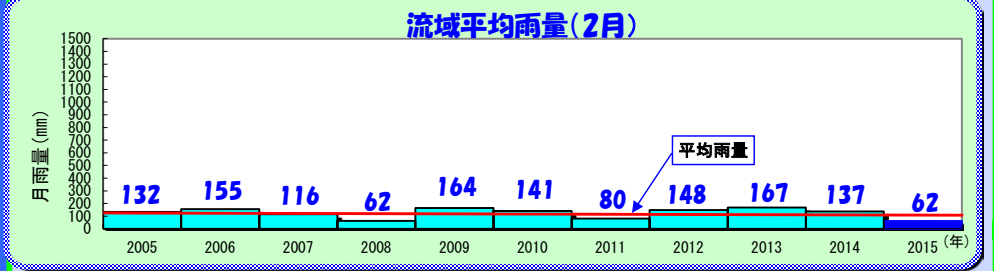
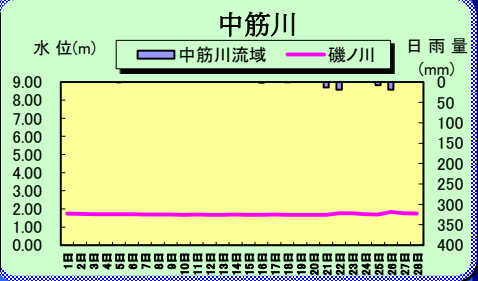
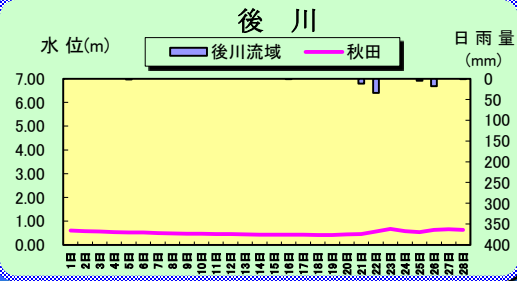
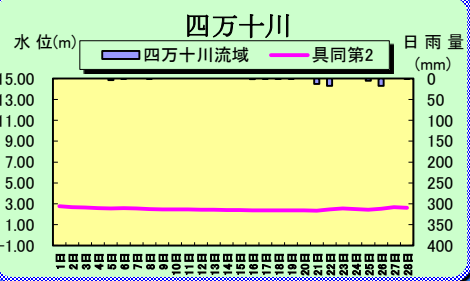
「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも
掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

2月の四万十川の様子



雨量・水位データ



2月の四万十川流域平均雨量62mmは平年の半分程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は130mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

